

>グループワーク

開催形式:ライブ配信

多職種連携カンファレンス

『高齢患者が安心して自宅で暮らし続けるには、地域社会に何が必要なのか』
(実行委員会企画)

企画責任者	小林 勇文(唐津市民病院きたはた)
座長	織田 良正(社会医療法人 祐愛会織田病院)
コメンテーター	鐘ヶ江 寿美子(医療法人ひらまつ病院/ひらまつクリニック)
司会進行	辻 智幸(辻薬局栄町店)
事例提示者	辻 智幸(辻薬局栄町店)
ファシリテーター	小林 勇文(唐津市民病院きたはた) 辻 智幸(辻薬局栄町店) 井上 優慶(唐津福祉会 特別養護老人ホーム岬荘) 富永 雄介(テンジン薬局) 前田 憲志(服巻医院) 井上 由美子(岩本内科 介護事業部) 江里口 恵介(河畔病院)
PC操作者	野崎 裕介(ケアプランセンター結絆)

[開催の目的]

厚生労働省がまとめた『保健医療 2035JAPAN VISION: HEALTH CARE』では、様々な暮らし方・働き方・生き方に対応できるこれから20年先を見据えた保健医療へ。人が安心、満足、納得することができる持続可能なシステム、主体的な選択を社会で支える仕組みをつくらせている。達成基盤には横断的手段として、専門職・制度間での相互連携や新たな可能性模索、リソースの発掘、これまでの発想や価値観にとらわれないイノベーション環境、次世代型の保健医療人材が求められる。今回こうした背景を視野に、我々が変化に柔軟に対応できるよう1つでも多くの学びにつながれば、それは大きな一歩になると信じ開催した。

[企画概要]

本グループワークでは、座長に祐愛会織田病院総合診療科部長の織田良正先生、コメンテーターに医療法人ひらまつ病院ひらまつクリニック副院長の鐘ヶ江寿美子先生をお招きし、医師だけの関わりでは求めている治療結果が得られないケース(高血圧症・軽度認知症・独居・意欲低下等)に対して、本人・



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

家族の目標である『1年後も自宅で明るい笑顔で過ごす』を達成するために何が必要で何が大切か“それぞれの職種が持っている可能性”“それぞれのまちにある多様なサービス”を意見交換し、有効な手立てを考えます。
全国各地の皆さまと一緒できることを楽しみにしています。
事前参加申し込み必要。30名限定。

<申し込み方法>

参加者マイページが立ち上がり次第、申し込みフォームより参加登録ができます。

※当日は Zoom を使ってグループワークを行いますので、端末は PC をお勧めしています。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

● 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
● 会場 オンライン開催
● 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>